

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
赤穂地区

令和元年3月

長野県駒ヶ根市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	自然観察会参加人数	人	100	150	56	確定 ● 見込み	△	あり なし ●	592	H31年4月1日～R1年12月31日	○	当初目標としていた、「自然観察会」人数だけでなく市で把握できる利用状況を算出した ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都市再生計画における整備後、十二天の森については、自然観察会だけでなく、保育園事業やその他にも市民利用が生まれてきている、	
指標2	市民満足度調査 自然・共生に対する満足度	Pt	3.03	3.12	3.06	確定 ● 見込み	△	あり なし ●	—	—	—	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	定期的(奇数年度)に行われる市民満足度調査において、モニタリングを続けていく。
指標3	市民満足度調査 道路環境における満足度	Pt	2.74	2.80	2.80	確定 ● 見込み	○	あり なし	—	—	—	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	定期的(奇数年度)に行われる市民満足度調査において、モニタリングを続けていく。
指標4	市民満足度調査 安全性・安心度における満足度	Pt	3.15	3.24	3.28	確定 ● 見込み	○	あり なし	—	—	—	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	定期的(奇数年度)に行われる市民満足度調査において、モニタリングを続けていく。
指標5						確定 ● 見込み		あり なし					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 ● 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 ● 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 ● 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	平地林の環境教育や市民の憩いの場とするための基盤整備	枯損木伐採および、公園内の橋の架け替え。	公園内の安全性の向上につながり、市民が安心して利用できる環境整備が進んだ。	公園内ため池の耐震化が未実施のため、関係機関と連携して整備し安全性を確保していきたい。
	道路の改善	地域要望等を踏まえつつ、整備計画に基づいた整備を行った。	整備実施個所においては、歩道・道路環境の整備が図られた。	都市再生整備計画の計画区域外において、整備未施工箇所も多いため今後も計画的な整備が必要。
	地域住民の安全・安心	地域防災計画の作成 防災訓練の実施	地域独自の具体的な避難方法と、警戒態勢の仕組みを、確認した。	防災マップ周知のための避難訓練の継続的な実施と、定期的な計画の見直し。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	十二天の森の利用促進	市報での広報およびパンフレットの作成・市内施設等への配布。	市民への周知につながった。	定期的な広報により、利用促進を継続していく。
	生活道路における歩道整備や道路環境の整備	地域要望等を踏まえつつ、整備計画に基づいた整備を行った。	整備実施個所においては、歩道・道路環境の整備が図られた。	都市再生整備計画の計画区域外において、整備未施工箇所も多いため今後も計画的な整備が必要。
	災害に強い地域づくり	大規模災害の発生を想定し、食糧・生活必需品・防災資機材の充実を図った。	市民の生命と財産を守るための防災体制の充実が図られた。	大災害発生時における、受援体制など災害対策本部体制の強化および、各地で発生する災害を教訓とした地域防災計画の見直し。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画

あかほ  
赤穂地区

ながの 長野県 こまがねし 駒ヶ根市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	駒ヶ根市	地区名	赤穂	面積	1006.9 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度				

### 目標

- 大目標 安全・安心で快適な生活環境の整備と豊かな自然を守り育て、魅力的なまちの創造  
 小目標① 住宅地に残された貴重な自然平地林を次世代に継承し、豊かな自然環境の保全と自然保護意識の高揚。  
 小目標② 通学路線を中心とした生活道路の整備と公共施設の耐震化による緊急・災害時の安全性の向上。  
 小目標③ 市民と行政による協働のまちづくりの推進。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

##### ●まちづくりの経緯

本市は、長野県の南部に位置し、西に中央アルプスと東に南アルプスに挟まれた総面積165.92平方キロ、人口33,693人(H22年国勢調査)で、伊南4市町村(駒ヶ根市、飯島町、宮田村、中川村)の中核市として、伊南地域の振興を図り、アルプスの山並みと清流が豊富な大自然の恵み溢れる地域である。赤穂地区は、南北に縦断する国道153号線と、中央自動車道の間に位置し、宅地と農地が混在する農村集落地域である。

本年度策定した駒ヶ根市第4次総合計画(平成26年度ー平成35年度)では、「ともに創ろう!笑顔あふれるまち 駒ヶ根」を合言葉に、「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」の創造を基本理念(将来像)とし、その将来像を実現するために①「豊かな自然を守り、快適に暮せるまちづくり」、②「災害に強い安全・安心のまちづくり」、③「活力あふれる産業のまちづくり」、④「子どもたちが夢と希望にあふれるまちづくり」、⑤「健康で安心して暮せるまちづくり」、⑥「ともに学び、文化を育むまちづくり」、⑦「市民が主役のまちづくり」の7つの柱を掲げております。基本理念や基本目標を市民と行政が共有し、協働してまちづくりを進める計画となっています。

#### 課題

- 住宅地に、野草や野鳥の観察などに適した貴重な自然平地林があり、自然環境の保全が求められている。一方で平地林周辺の住環境の整備が不十分なこと、また平地林へアクセスするための道路整備が必要である。
- 地区内に立地する小中学校の通学路として指定されている生活道路は、歩道整備が一部未整備のため、児童・生徒の登下校時における歩行者の安全性を確保する必要がある。また小中学校のグラウンドや体育館などは、災害時の緊急避難施設に指定されており、緊急時には、地域住民が安全に避難施設へ移動できるよう道路整備等が必要である。
- 今後予想される東海地震、南海トラフ地震等や、局地的な豪雨による土砂災害、水害等の非常時における救援・復旧活動の拠点となる市民体育館の耐震改修を早急を実施する必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

【駒ヶ根市第4次総合計画】(平成26年度ー平成35年度)

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
自然観察会参加者数	人	自然観察会への参加者数	十二天の森の環境整備を図ることにより、身近な自然を満喫してもらう。	100	H24	150	H29
自然・共生に対する市民意識調査	Pt	地域住民アンケートで「自然の大切さを学び伝える機会に	十二天の森の環境整備を図ることにより、自然保護意識の高揚を	3.03	H23	3.12	H29
道路環境に対する市民意識調査における満足度ポイント	Pt	地域住民アンケートで「道路は歩行者にとって安全である」という満足度の問いに対する評価	通学路等の整備を行うことにより、道路環境の向上を図る。	2.74	H23	2.80	H29
協働のまちづくり支援事業の支援団体数	団体	計画期間内に、市民団体等による公益的・公共的な事業に対して補助支援した新規団体数	協働のまちづくり事業を活用した、市民団体等によるまちづくりの推進を図る。	0	H25	4	H29
安全性・安心度に対する市民意識調査における満足度ポイント	Pt	地域住民アンケートで「地域に安心できる防災の仕組みがある」という満足度の問いに対する評価	公共的な施設の耐震化を進めることによる、防災機能の強化を図る。	3.15	H23	3.24	H29

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・住宅地に残された貴重な自然平地林を次世代に継承し、豊かな自然環境の保全と自然保護意識の高揚。</p> <p>①十二天の森の活用を恒久的なものとするために用地を取得し、動植物の生態観察など、自然への親しみをより深めることのできる公園整備を図る。</p> <p>②公園へのアクセスを容易にするための周辺道路整備を実施する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>公園事業：十二天の森            道路事業：市道 中田切線            道路事業：市道 1-188号線</p>
<p>・通学路線を中心とした生活道路の整備と公共施設の耐震化による緊急・災害時の安全性の向上。</p> <p>①通学路として指定されている生活道路の改良や歩道整備を実施する。</p> <p>②平常時には地域の交流拠点として、非常時には地域の防災活動の拠点として利用可能な市民体育館の整備を図る。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業：市道 大手女体線            道路事業：市道 1-49号線            道路事業：市道 1-135号線            道路事業：市道 南割町線(改良)            道路事業：市道 1-56号線            道路事業：市道 南割町線(修繕)            道路事業：市道 大手馬場線            道路事業：市道 1-499号線            道路事業：市道 南割縦線            道路事業：市道 上穂本線            道路事業：市道 北原切石線            地域生活基盤施設：地域防災施設(市民体育館)</p>
<p>・市民と行政による協働のまちづくりの推進</p> <p>①道路環境改善や環境保全活動など、市民と行政の協力によるまちづくり活動の推進。</p>	<p>【(参考)関連事業】</p> <p>まちづくり活動推進事業：まち普請支援事業</p>
<p>その他</p> <p>○交付期間中の計画管理については、庁内プロジェクトチームを組織し、横断的な発想で事業を検討・検証していくこととする。</p> <p>○舗装修繕事業の実施にあたっては、毎年自治組合からの要望箇所について、現地調査を行い、その必要性及び緊急度を精査したうえで実施する。</p> <p>○まち普請支援事業は、平成20年に制定した「協働のまちづくり条例」の規定に基づき、市民団体等が自主的に協働のまちづくりを推進するため、市民団体等が自主的・主体的に行う公共的・公益的活動に対して補助を行うものである。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果の検証及び事後評価を行い、今後のまちづくりに反映させる。</li> <li>・事後評価の達成度については、市ホームページ等で市民に周知する。</li> </ul>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	502.0	交付限度額	200.8	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	(改良)	市道 大手女体線	駒ヶ根市	直	250m	H26	H29	H26	H29	40.7	40.7	40.7		40.7	—
道路	(改良)	市道 1-49号線	駒ヶ根市	直	75m	H26	H29	H26	H29	16.0	16.1	16.1		16.1	—
道路	(改良)	市道 1-135号線	駒ヶ根市	直	240m	H26	H28	H26	H28	19.6	19.6	19.6		19.6	—
道路	(改良)	市道 南割町線	駒ヶ根市	直	120m	H26	H29	H26	H29	26.9	26.9	26.9		26.9	—
道路	(改良)	市道 1-188号線	駒ヶ根市	直	278m	H26	H28	H26	H28	16.3	16.3	16.3		16.3	—
道路	(改良)	市道 1-56号線	駒ヶ根市	直	100m	H26	H27	H26	H27	9.1	9.1	9.1		9.1	—
道路	(改良)	市道 1-499号線	駒ヶ根市	直	300m	H26	H28	H26	H28	21.0	21.0	21.0		21.0	—
道路	(修繕)	市道 南割町線	駒ヶ根市	直	150m	H26	H28	H26	H28	5.3	5.2	5.2		5.2	—
道路	(修繕)	市道 大手馬場線	駒ヶ根市	直	80m	H28	H29	H28	H29	6.2	6.2	6.2		6.2	—
道路	(修繕)	市道 中田切線	駒ヶ根市	直	300m	H29	H29	H29	H29	15.0	15.0	15.0		15.0	—
道路	(舗装)	市道 南割縦線	駒ヶ根市	直	600m	H27	H29	H27	H29	33.7	33.7	33.7		33.7	—
道路	(舗装)	市道 上穂本線	駒ヶ根市	直	150m	H26	H29	H26	H29	7.5	7.5	7.5		7.5	—
道路	(舗装)	市道 北原切石線	駒ヶ根市	直	150m	H26	H29	H26	H29	9.1	9.1	9.1		9.1	—
公園		十二天の森	駒ヶ根市	直	2,184㎡	H27	H29	H27	H29	179.1	179.1	179.1		179.1	—
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	地域防災施設	市民体育館耐震改修	駒ヶ根市	直	2,184㎡	H26	H27	H26	H27	96.5	96.5	96.5		96.5	—
高質空間形成施設															
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地	拠点開発型														
総合整備	沿道等整備型														
事業	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										502	502	502	0	502	

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造														
支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										0	0	0	0	0
												合計(A+B)	502	

(参考)関連事業

